

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	地域おこし協力隊
氏名	高久博子
着任日	令和2年2月1日

活動月	令和2年9月（着任：8ヶ月）
主な活動	1. Facebook用写真撮影・記事作成・投稿 2. 茶園・地域訪問（ホームページ用記事作成）

1. Facebook用写真撮影・記事作成・投稿

今月は秋番茶の収穫前で、久しぶりに茶農家の皆さんの会合、労働安全講習会の取材を行った。講習会では、普段お目にかかれない生産者の方にお会いし、摘採機での事故の例を実際にメーカーの方から伺うこともできた。日頃茶畑を眺めているだけではわからない農作業について理解できる貴重な機会であった。

また以前から知覧茶の歴史ある収穫場所、木床^{こどこ}の写真撮影を希望していたが、なかなか知覧地域の方でも場所がわかりにくいところで訪れることができなかった。今回急なお願いにもかかわらず、地域の方にご親切に案内をしていただき、ようやく撮影を行うことができた。いつも風景を撮影するときは、知覧茶を知らない方に自然に囲まれた知覧の茶園風景を知っていただきたいと思っている。今回有難く案内をしていただき、晴天の日に撮影をすることができた。引き続き知覧茶をあまり知らない方を意識して、Facebookについては、投稿していきたい。

なお、先月から延期していたお茶の淹れ方動画を、茶業振興会のYouTubeとFacebookになんとか投稿することができた。淹れ方の内容については、担当者として準備で反省点があったが、講師はお茶について知り尽くしている職員で、その点は良かったと思う。

動画に限らず、ご感想、ご意見、いつでもよろしくお願ひします。



2. 茶園・地域訪問（ホームページ用記事作成）

学校でのお茶の淹れ方教室のはじめての取材で穎娃高校の3年生の教室を訪問、日本茶インストラクター上村あゆみさんのお茶の淹れ方を取材した。高校生に話を伺うと、ご家族では祖父母の方がお茶を飲まれているとことで、生産地であっても日頃飲む機会が減っていることを改めて感じ、また同時に、お茶については関心を持っていることも感じた。日本茶インストラクターによるお茶の淹れ方はこれまでも拝見する機会があったが、何回お聞きしても人それぞれ違うため勉強になり、特に若い方に理解してもらえるようにお話をする難しさを感じた。3年生にはお茶を利用したメニューを考える授業があるとのことで、生産地としてこのような授業があることは大切に素晴らしいと思う。

また以前から行っている知覧地域の販売店の訪問（小堀園さん、川口茶舗さん）を9月上旬に行った。コロナウィルスの影響で明らかに人が少なく、厳しい中お話を伺ったが、ようやく知覧に修学旅行の観光バスも訪れるようになり、なんとか少しずつ回復してほしいと願っている。販売店とともに、学校を訪問する機会がまたあれば、取材をしたいと思う。

最後に、9月後半ホームページ用の取材として小磯製茶さんを訪問させていただいた。これまでの歩みとともに碾茶、商品のお話などをお聞きした。経営者の方とお話しすることに慣れていない中でわかりやすくお話をさせていただいた。小磯製茶さんをご存じない方を意識して、ホームページでご紹介したいと思っている。

来月は取材するだけでなく、近隣の方と小さなお茶会を開催したいと考えている。



地域おこし協力隊活動報告書

